

子ども子育て関係事業者ヒアリング結果の概要

1. 認定こども園

施設名	第2期計画の取組状況	課題と今後の展望	こども計画等について
賀茂川こども園	・保護者からの育児相談に対応している。 ・県保育連盟のキャリアアップ研修にローテーションを組みながら参加している。 ・一時保育利用者の3分の2は広域利用。 ・延長保育の5分の4は広域利用。	・保育士の確保に苦労している。 ・他市では、独自の処遇改善があり、待遇面で見劣りをしている。 ・施設や人員のダウンサイジングが必要。 ・法人連携や統合の補助があればいい。	・広域利用の視点での策定。
明星こども園・ 忠海東部こども園	・幼保小連携教育推進協議会で小学校との連携がとりやすくなった。 ・幼児教育アドバイザー訪問事業を活用したいが、まだ実施できていない。	・保育士の確保に苦労している。 ・新規就職や復職者への直接給付を希望。 ・2園体制の維持は困難だと思う。 ・0歳児等早くから預ける家庭が増えた。	・施設の大規模修繕に対する支援 ・SNSを活用した子育てネットワーク
大乘こども園	・小学校との連携は、学校に声がかけやすくなった。 ・保護者からの育児相談が多い。 ・父親のかかわりが増えた。	・保育士紹介の手数料が負担となる。 ・家賃が高く、保育士が市内に住めない。 ・法人の統合、施設の転用も検討する。 ・親子で参加する研修プログラムの実施。	・保育士の就業面、採用面の支援が必要。 ・放課後デイサービスの充実 ・放課後児童クラブの質の向上 ・私立が運営できる定員の配分
中央こども園	・保護者の経験不足、幼稚化を感じる。 ・職員の奨学金返済の支援をしている。	・保育士の確保に苦労している。 ・新卒は、給料の高い都会へ流出する。 ・園児数が劇的に減少した。 ・小中学生の居場所づくりをしたい。	・自立した社会人となるための教育 ・スポーツや文化体験の充実

2.放課後児童クラブ

施設名	第2期計画の取組状況	課題と今後の展望	こども計画等について
荘野放課後 児童クラブ	・低学年と高学年でスペースを分けるなどしないと、体格差や心の発達の差のある児童と一緒に保育するのは難しい。 ・こども園と保育士の入替をしている。	・下校時間が早い。 ・高学年の利用が多い。 ・放課後児童クラブ以外での子どもの居場所づくりが必要。	・学校統廃合後の施設運営 ・こどもの居場所づくり
東野放課後 児童クラブ	・子どもの喧嘩がひどい。指導員がけがをすることもある。 ・月1回指導員会議を行い、情報の共有を図っている。	・夏の気温上昇で、外遊びができない。 ・親が、子どもに関心がないようだ。 ・加配のつかないこどもにもケアが必要 ・学校統廃合後の施設の返還に当たり、現状復旧が必要。	・現場をしっかりと見てほしい ・親が就労していなくても預かる施設
中通放課後 児童クラブ	・認定こども園と同様		

3.ファミリーサポートセンター

施設名	第2期計画の取組状況	課題と今後の展望	こども計画等について
ファミリー サポートセンター	・会員登録400人、年750件程度利用。 ・利用者は原則小学生までだが、状況により中学生も対応する。 ・預かりよりも送迎が多くなった。	・協力会員の高齢化、運転免許の返納などで送迎が困難になるとみこまれる。 ・高齢者の就労により、協力会員になる年齢が上昇している。	・保護者の経済的負担の軽減 ・児童クラブ等の預かり時間の延長 ・多様なニーズへの対応

4. 病児・病後児保育

施設名	第 2 期計画の取組状況	課題と今後の展望	こども計画等について
ポピー	・看護師 2 名、保育士 1 名を常駐。 ・稼働率は低い。2 名定員に 0.4 人。 ・リピーターは多いが、最初のハードルが高いのかもしれない。 ・こども園への巡回訪問、ポピーだより発行等、啓発活動をしている。	・保育士の確保に苦労している。 ・こども園等の保育士を輪番で回してほしい。 ・研修に行かせたいが、交通費が負担。 ・ニーズと安全性の両立に向けて再構築が必要。	・計画と実績の乖離が大きい。 ・任意予防接種の接種率向上 ・接種時期のプッシュ通知
さくらんぼ	・看護師 1 名、保育士 1 名を常駐 ・コロナ感染症により、利用が激減したが、回復傾向。	・看護師の確保に苦労している。 ・コロナ検査をしないと安心して預かれない。 ・つくしんぼの利用者等親のネットワークにより、新規利用者を増やしたい。	・病後児保育事業の継続

5. 地域子育て支援センター（巡回型）

施設名	第 2 期計画の取組状況	課題と今後の展望	こども計画等について
ミルクハウス	・コロナ禍で利用が激減したが、回復。 ・毎日どこかの地域を訪問している。 ・地域の子育てサークルの支援。 ・低年齢の利用者が増えている。	・保護者の交流、孤立防止をしている。 ・SNS を活用したネットワークの構築。 ・子育てサークルの担い手の不足。 ・支援が必要な保護者に情報を届けたい。	・子育てのネットワークづくり

5.地域子育て支援センター（拠点型）

施設名	第 2 期計画の取組状況	課題と今後の展望	こども計画等について
つくしんぼ	・ 課題やニーズに応じた講座を開催。 ・ 父親の参加はあるが、交流がない。	・ 父親の子育て支援が必要。 ・ 企業の理解が進んでいないので、父親の子育て参加が難しいのではないかな。	・ 企業に対する啓発 ・ 若者の結婚後の生活支援

6．妊婦検診

施設名	第 2 期計画の取組状況	課題と今後の展望	こども計画等について
安田病院	・ 1 日 4 時間、月 6 回開設 ・ 占部産婦人科との連携 ・ 子宮がん検診の実施	・ 施設、設備の老朽化と更新時期の到来 ・ 発達障害を持つ妊婦への対応、支援。	・ 中高生を対象にプレコンセプションケア

7．産後ケア

施設名	第 2 期計画の取組状況	課題と今後の展望	こども計画等について
にじいろ助産院	・ 日帰り型、訪問型で産後ケアを実施 ・ 日帰り型は 1 日 1 組で昼食を提供 ・ 訪問型は、午前・午後で複数訪問	・ スタッフの確保 ・ 自宅と助産院の空間の切り分け ・ 申し込みから利用までの時間の短縮	・ こどもの意見を反映する仕組みづくり ・ 中高大生と子育て世代の交流